

2022年3月期 第2四半期決算説明会



スズキ株式会社 2021.11.11

第2四半期実績 … 前期比増収増益、前々期に対しては減収減益（営業利益）

(億円)	当期 (’21/4-9)	前期 (’20/4-9)	増 減		補足	前々期 (’19/4-9)	増 減		
				増減率				増減率	
連結業績	売上高	16,736	12,702	+4,034	+31.8%	3期振り増収	17,554	▲819	▲4.7%
	営業利益 (利益率)	991 (5.9%)	749 (5.9%)	+242	+32.3%	3期振り増益	1,186 (6.8%)	▲195	▲16.4%
	経常利益 (利益率)	1,482 (8.9%)	962 (7.6%)	+520	+54.2%	3期振り増益	1,395 (7.9%)	+87	+6.3%
	当期純利益* (利益率)	1,005 (6.0%)	543 (4.3%)	+462	+85.0%	3期振り増益	793 (4.5%)	+212	+26.8%

- ・売上高増加 … 半導体を含む部品供給不足の一方、前年同期が新型コロナウイルス影響により大幅減だったため増収
- ・営業利益増益 … 原材料価格高騰があったが、売上増加等により増益
- ・当期純利益増益… 経常利益増益に加え、特別損益の改善（前年同期が新型コロナウイルス関連損失▲154億円計上に対し、当期は旧豊川工場跡地売却益+180億円）等により増益

世界販売	四輪車	1,255千台	966千台	+290千台	+30.0%	インド、パキスタン、欧州等で増加	1,408千台	▲153千台	▲10.8%
	二輪車	781千台	675千台	+106千台	+15.6%	インド、中国等で増加	879千台	▲98千台	▲11.1%
配当	一株当たり 中間配当金	45円	37円	+8円			37円	+8円	

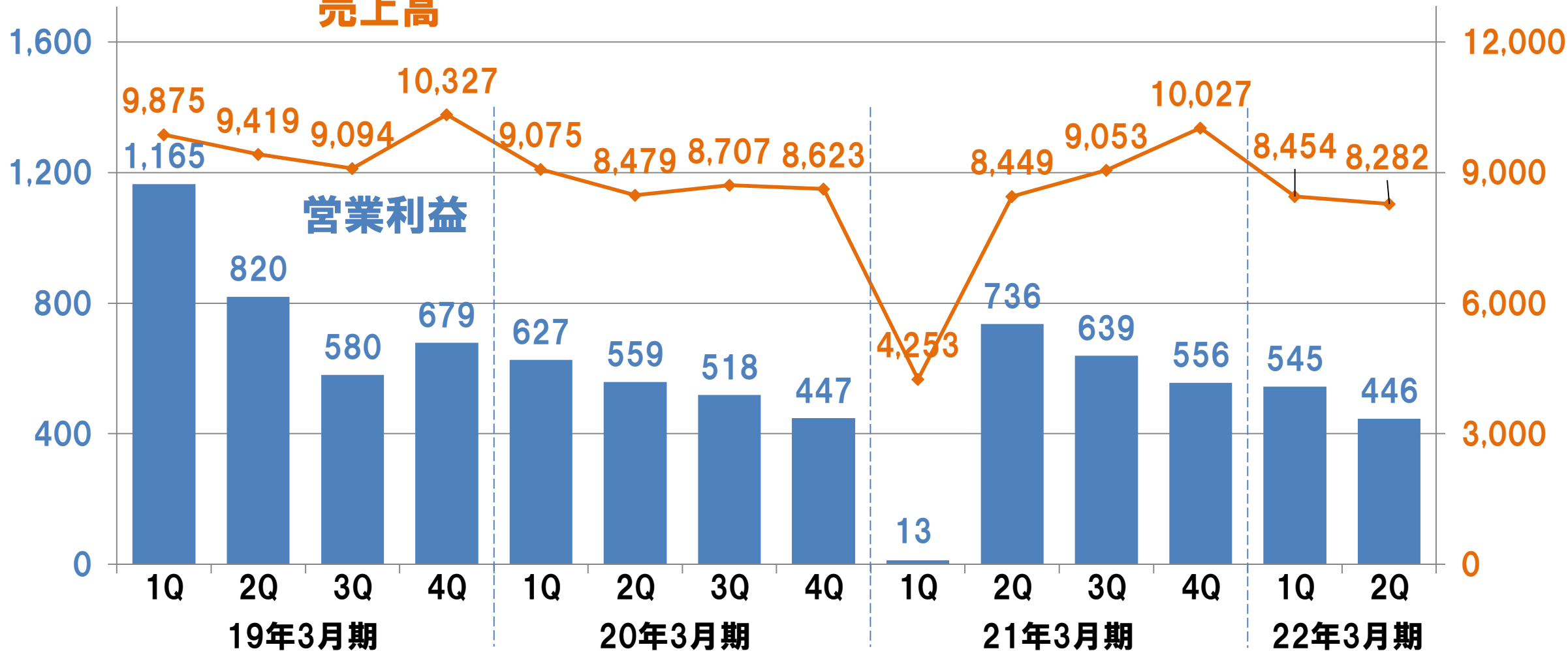
※ 当期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

(営業利益・億円)

(売上高・億円)

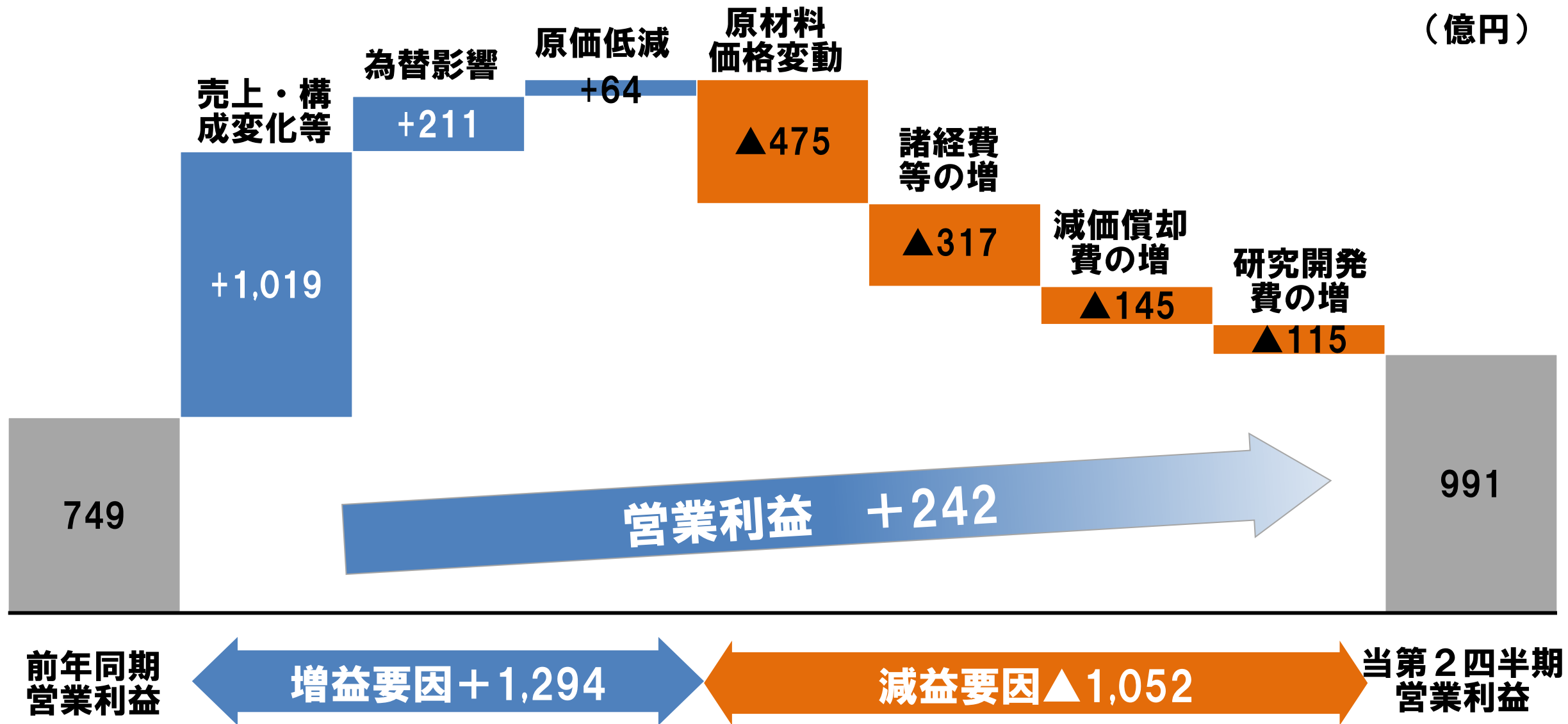
売上高

営業利益

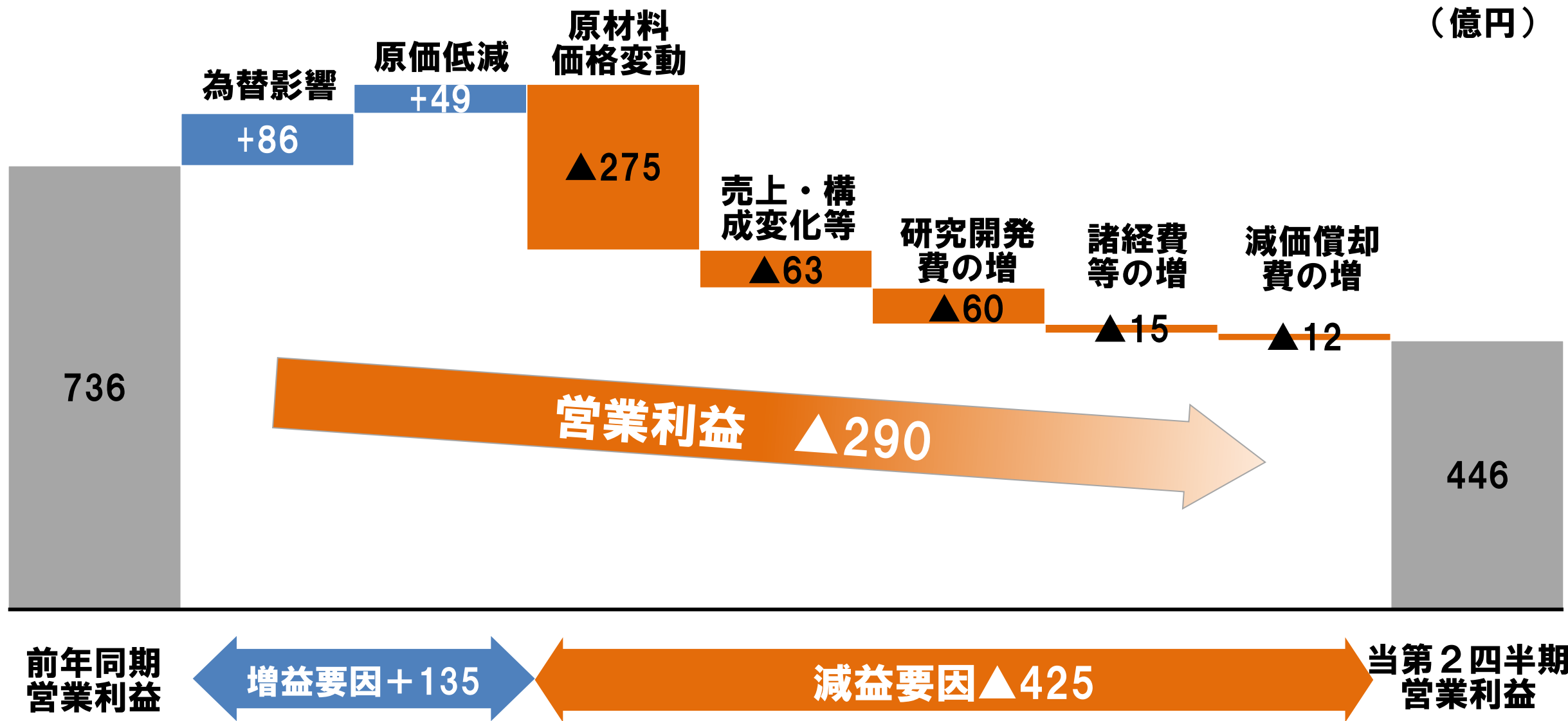


(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	5,009	5,088	▲79	116	102	+14	17	20	▲3	61	58	+3	5,203	5,268	▲65	
自 社	4,629	4,685	▲56	116	102	+14	17	20	▲3	61	58	+3	4,823	4,865	▲42	
OEM	380	403	▲23										380	403	▲23	
海外計	9,977	6,251	+3,726	1,074	789	+285	482	394	+88				11,533	7,434	+4,099	+627
欧州	2,040	1,541	+499	160	152	+8	119	85	+34				2,319	1,778	+541	+172
北 米	2	5	▲3	128	133	▲5	242	217	+25				372	355	+17	+13
アジア	6,327	3,999	+2,328	569	369	+200	60	59	+1				6,956	4,427	+2,529	+294
インド	4,767	2,932	+1,835	280	166	+114	4	3	+1				5,051	3,101	+1,950	+203
〃以外	1,560	1,067	+493	289	203	+86	56	56	+0				1,905	1,326	+579	+91
その他	1,608	706	+902	217	135	+82	61	33	+28				1,886	874	+1,012	+148
総合計	14,986	11,339	+3,647	1,190	891	+299	499	414	+85	61	58	+3	16,736	12,702	+4,034	+627
内、為替換算影響			+554			+51			+22							+627

注. 当期…2021年4～9月期、前期…2020年4～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等



（億円）

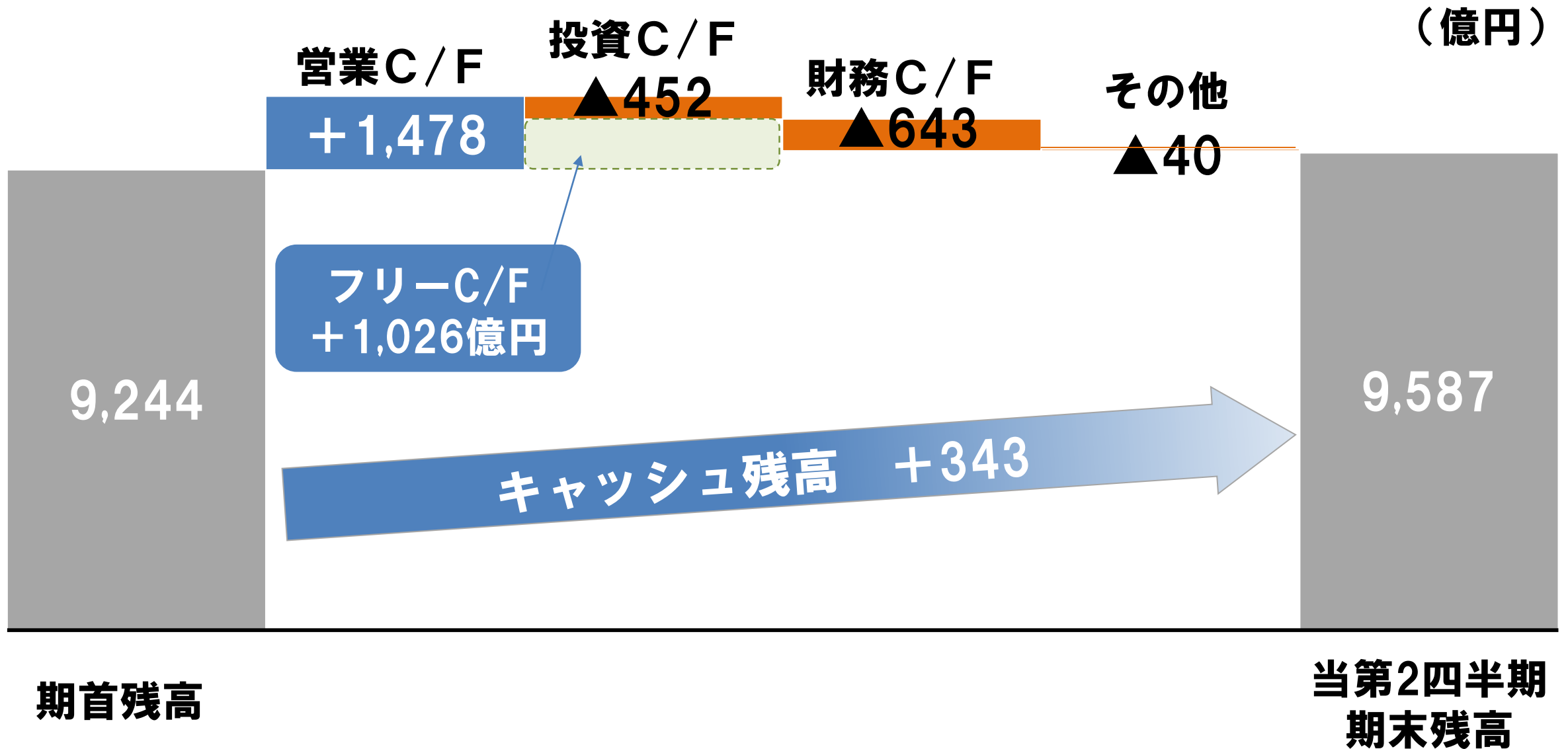


	当第2四半期 ('21/4-9)	前第2四半期 ('20/4-9)	増 減	営業利益 為替影響
ユーロ	131円	121円	+10円	+66億円
南アフリカランド	7.65円	6.15円	+1.50円	+26億円
メキシコペソ	5.49円	4.72円	+0.77円	+23億円
インドルピー	1.49円	1.43円	+0.06円	+18億円
オーストラリアドル	83円	73円	+10円	+18億円
ポンド	152円	135円	+17円	+13億円
米ドル	110円	107円	+3円	+11億円
パキスタンルピー	0.69円	0.65円	+0.04円	+9億円
ニュージーランドドル	78円	68円	+10円	+8億円
その他※	—	—	—	+19億円
計				+211億円

※その他…インドネシアルピア +5億円、ポーランドズロチ +3億円他

	当第2四半期 ('21/4-9)	前第2四半期 ('20/4-9)	増 減
(当社単独)	254億円	249億円	+5億円
(子会社)	578億円	601億円	▲23億円
設備投資	832億円	850億円	▲18億円
減価償却費	659億円	607億円	+52億円
研究開発費	771億円	656億円	+115億円

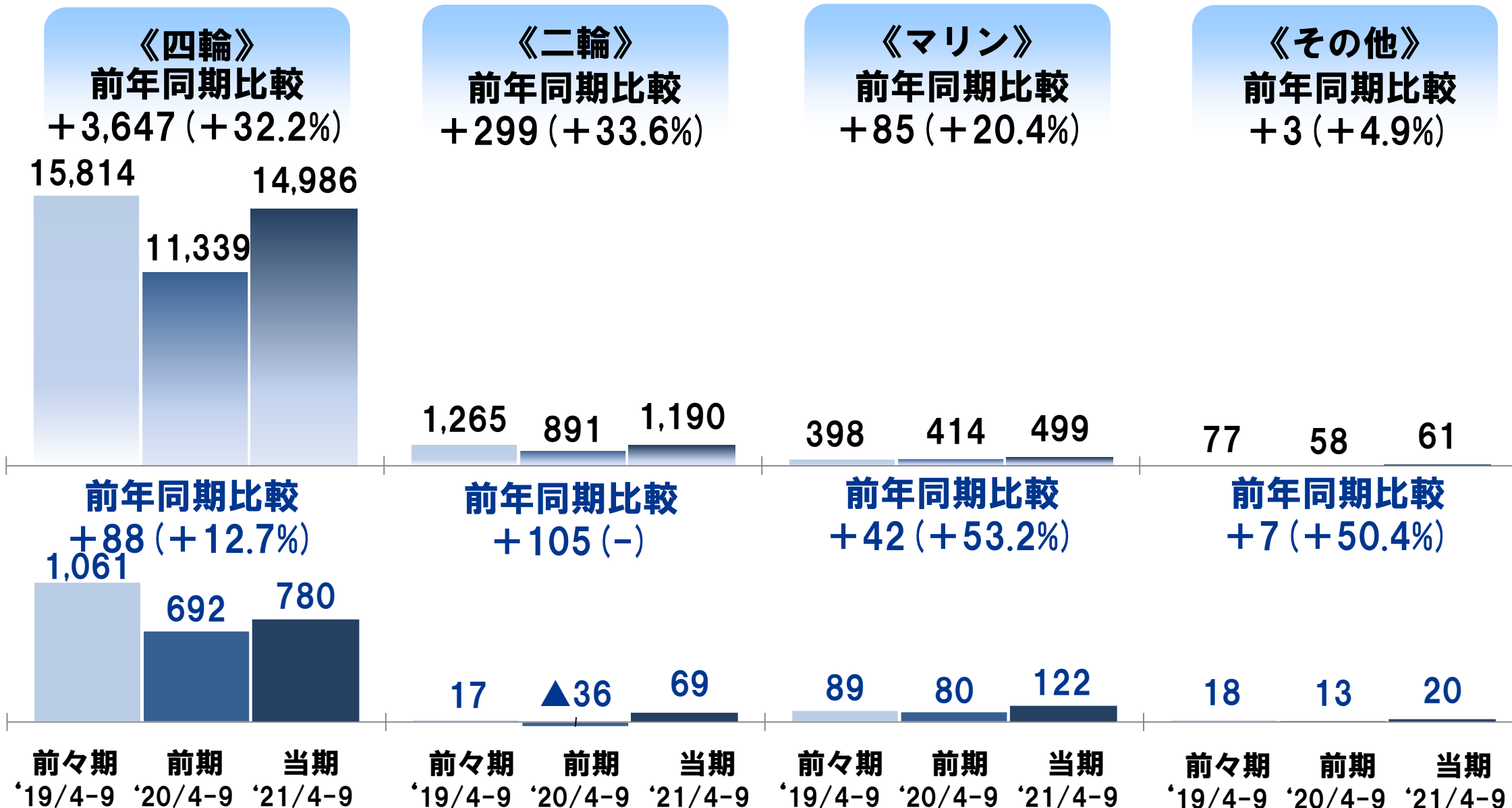
	当第2四半期末 ('21/9末)	前第2四半期末		前期末	
		('20/9末)	増 減	('21/3末)	増 減
有利子負債残高	7,374億円	7,928億円	▲554億円	7,708億円	▲334億円
連結子会社数	120社	124社	▲4社	120社	±0社
持分法適用関連会社数	31社	29社	+2社	31社	±0社
従業員数	70,008人	69,785人	+223人	68,739人	+1,269人



（億円）

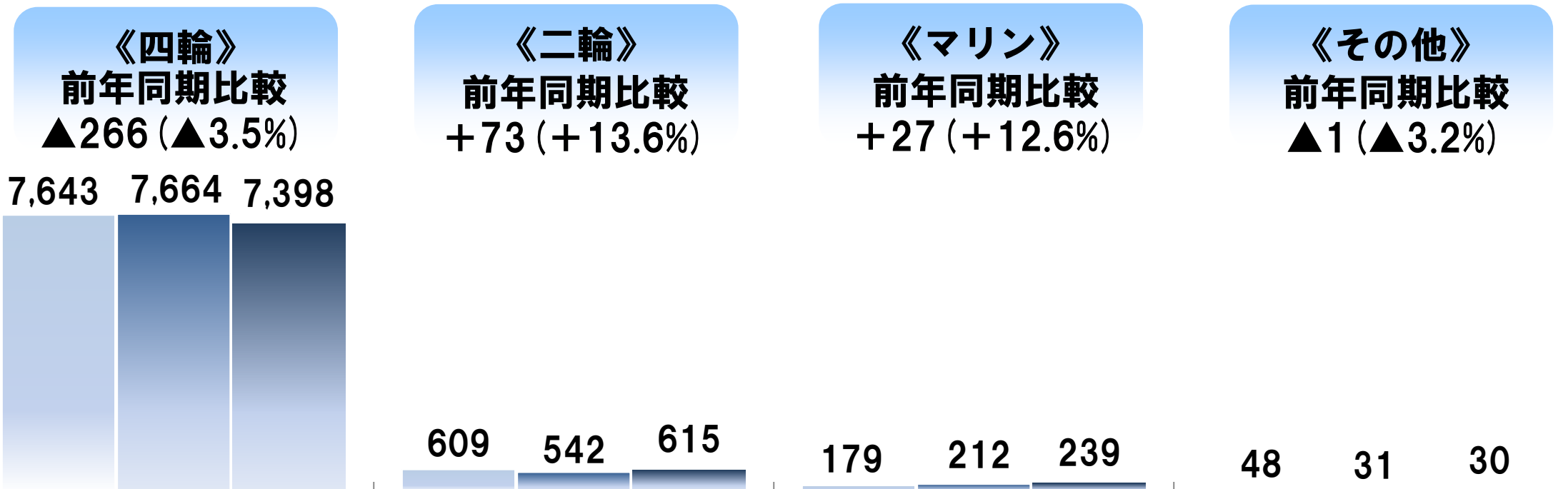
売上高

営業利益



（億円）

売上高



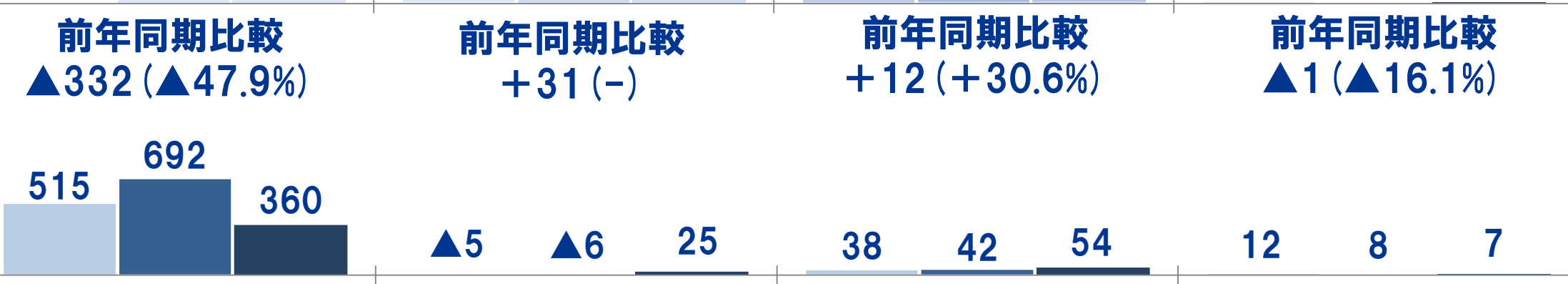
《四輪》
前年同期比較
▲266 (▲3.5%)

《二輪》
前年同期比較
+73 (+13.6%)

《マリン》
前年同期比較
+27 (+12.6%)

《その他》
前年同期比較
▲1 (▲3.2%)

営業利益



前年同期比較
▲332 (▲47.9%)

前年同期比較
+31 (-)

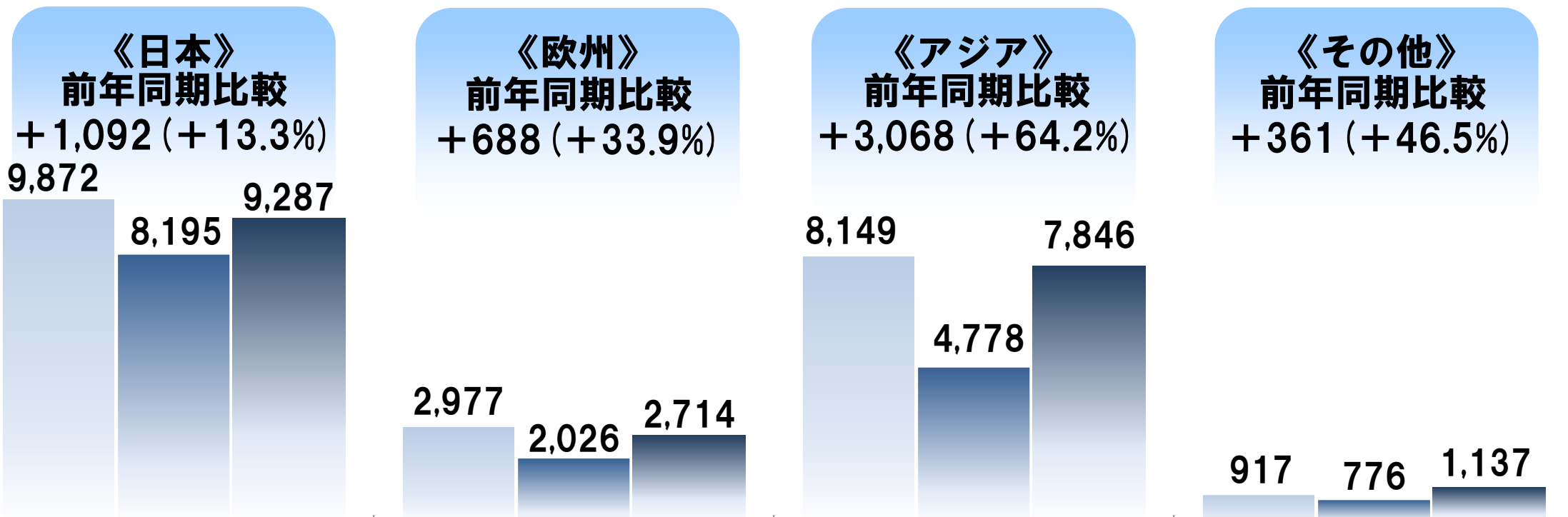
前年同期比較
+12 (+30.6%)

前年同期比較
▲1 (▲16.1%)

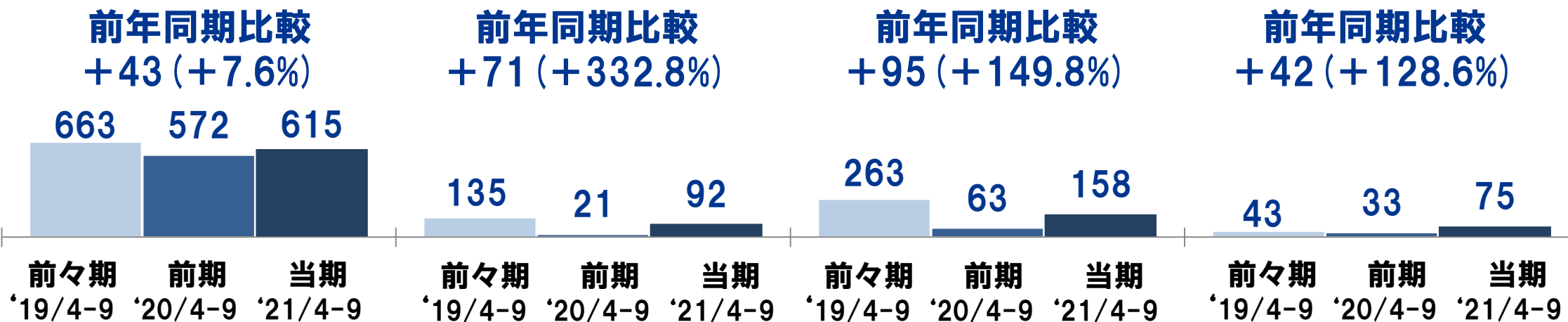
前々期 前期 当期 前々期 前期 当期 前々期 前期 当期 前々期 前期 当期
'19/7-9 '20/7-9 '21/7-9 '19/7-9 '20/7-9 '21/7-9 '19/7-9 '20/7-9 '21/7-9 '19/7-9 '20/7-9 '21/7-9

（億円）

売上高

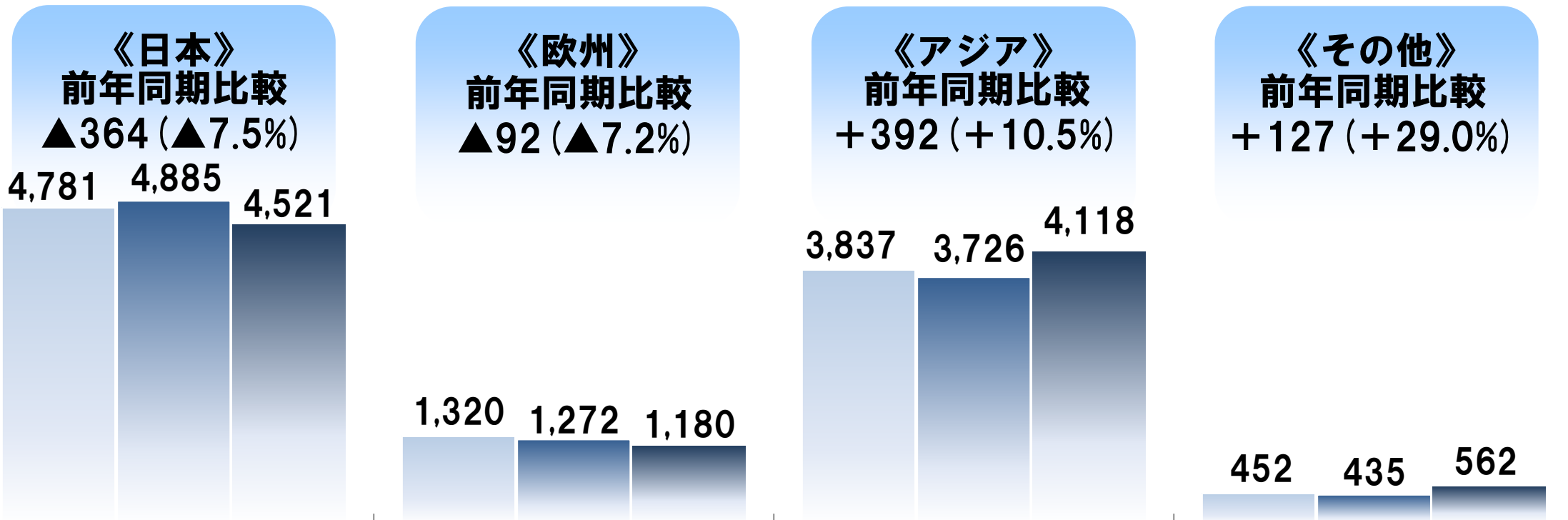


営業利益

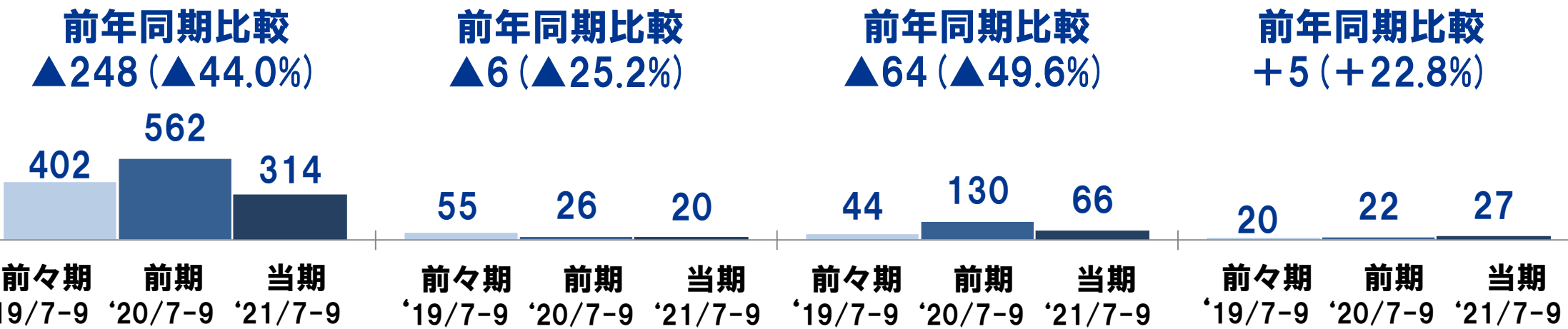


（億円）

売上高



営業利益



		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当第2四半期	前第2四半期	増減	当第2四半期	前第2四半期	増減
連結業績	売上高	3,610	2,137	+1,473	5,379	3,056	+2,323
	営業利益※2 （利益率）	18 (0.5%)	▲42 (▲2.0%)	+60	26 (0.5%)	▲60 (▲2.0%)	+86
	税前利益 （利益率）	121 (3.3%)	143 (6.7%)	▲22	180 (3.3%)	204 (6.7%)	▲24
	当期純利益 （利益率）	96 (2.7%)	115 (5.4%)	▲19	143 (2.7%)	165 (5.4%)	▲22
	為替レート	1.49円	1.43円	+0.06円			
卸販売	国内販売※3	628千台	438千台	+191千台			
	輸出※3	105千台	32千台	+73千台			
	合計	733千台	470千台	+263千台			

※1. ルピー建は、10月27日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2. 営業利益は次式により算出
Sales of product
+ Other operating revenues
- Total Expenses
+ Finance costs

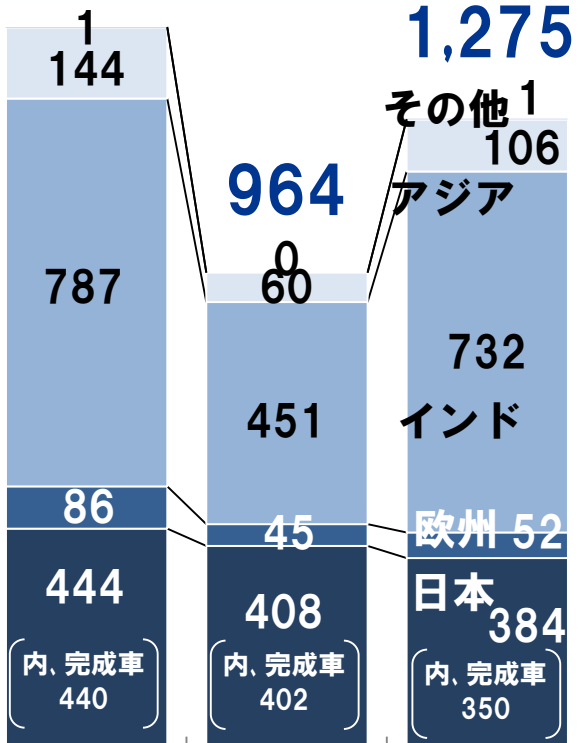
※3. 国内販売および輸出はOEMを含む

《生産実績》

+311千台 (+32%)

(千台)

1,462



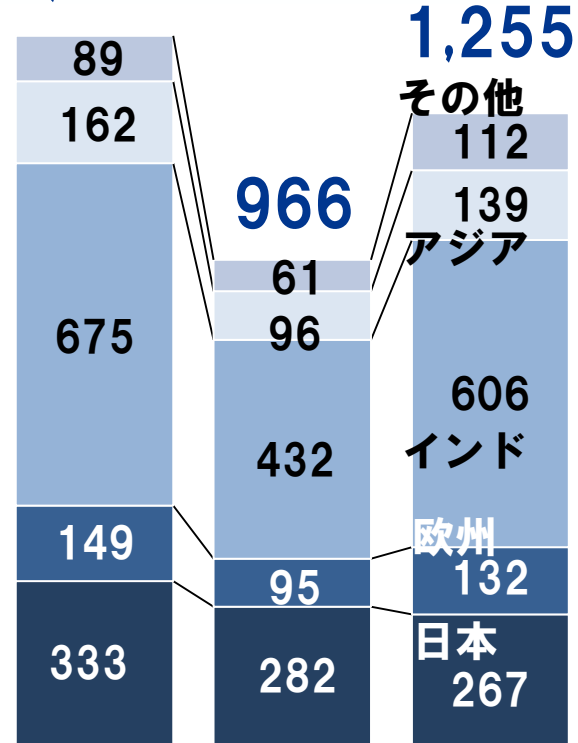
前々期 '19/4-9 前期 '20/4-9 当期 '21/4-9

《販売実績》

+ 290千台 (+30%)

(千台)

1,408



前々期 '19/4-9 前期 '20/4-9 当期 '21/4-9

●当期の世界販売

・世界販売 1,255千台 (前年同期比+ 30.0%)

(世界販売の内訳)

インド	606千台	(//	+ 40.4%)
日本	267千台	(//	▲ 5.2%)
欧州	132千台	(//	+ 38.8%)
アジア (除インド)	139千台	(//	+ 43.8%)
その他	112千台	(//	+ 84.0%)

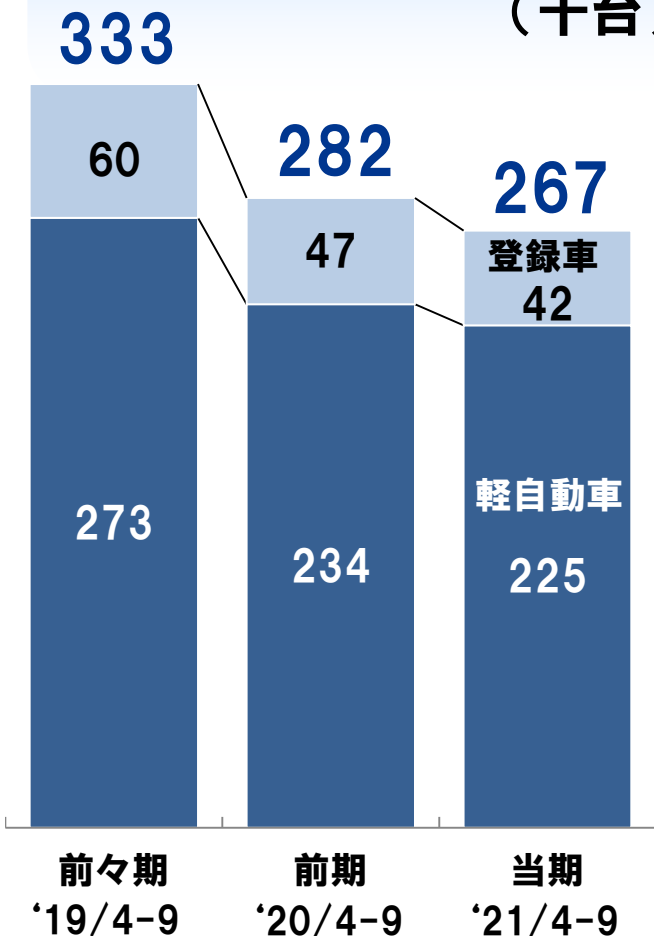
(インドを除くアジアの内訳)

パキスタン	60千台	(//	+141.0%)
インドネシア	44千台	(//	+ 73.6%)
タイ	10千台	(//	▲ 12.5%)
その他	24千台	(//	▲ 30.3%)

《第2四半期比較》

▲15千台（▲5%）

（千台）



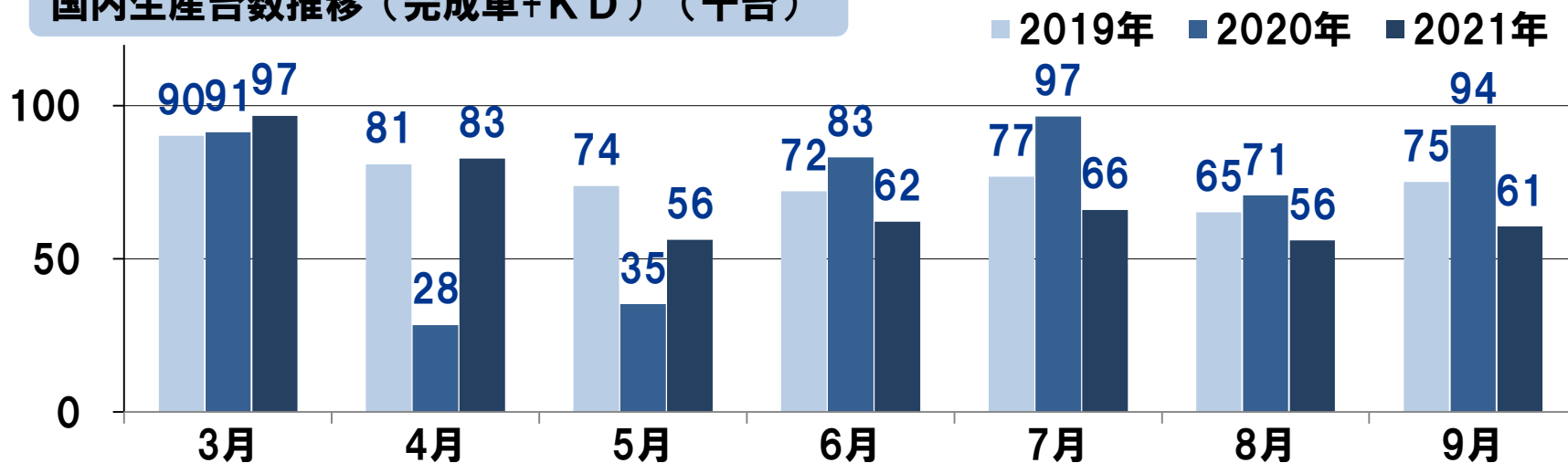
●当期の日本販売

- ・当期の国内四輪販売台数は、半導体を含む部品供給不足により生産台数が落ち込んだことから、4～9月合計では前年同期比▲5.2%、コロナ前の前々期に対しては▲19.7%。

●当期の国内工場の稼働状況

- ・国内工場では5月以降の部品供給不足による工場の生産停止が継続し、販売に影響。上期の国内完成車生産台数は350千台で期初社内予算比では71%に留まった。

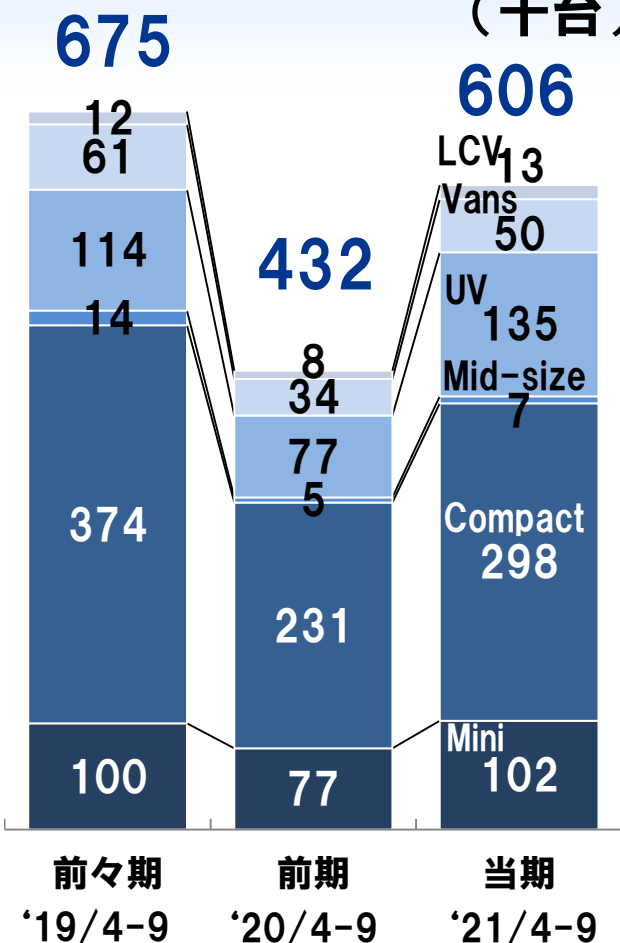
国内生産台数推移（完成車+KD）（千台）



《第2四半期比較》

+174千台（+40%）

（千台）



●当期のインド販売

- ・前年同期がインド全土における大規模なロックダウンの影響を受けていたため、前年同期比では+40.4%。
- ・一方、ロックダウンによる販売店の稼働制約、半導体を含む部品供給不足による生産減の影響を受けたため、コロナ前の前々年同期比では▲10.3%。
- ・販売店は9月末現在でほぼ全店舗が稼働。
- ・マルチスズキでは1月、4月、7～9月に値上げを実施。高騰する原材料や部品コストの増加の一部を価格転嫁。

●新型コンパクトカー「セレリオ」発売

- ・主力コンパクトカー「セレリオ」を全面改良
- ・停車時アイドリングストップシステムを追加した新型エンジンの搭載等により燃費を向上
- ・11月よりインドで販売を開始し、順次中南米、中東、アフリカなどへ輸出

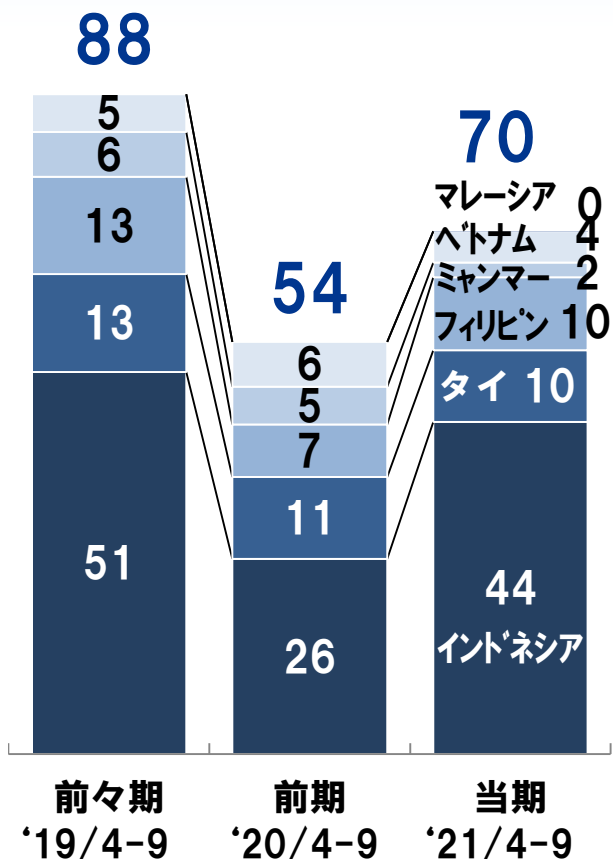


注. 商用車含む卸販売実績、OEMを除く

※LCV=Light Commercial Vehicles UV =Utilities Vehicles

《第2四半期比較》

+15千台（+29%）
（千台）



●当期のアセアン販売

・当期のアセアン6カ国※合計販売台数は70千台（前年同期比+28.5%、前々年同期比▲21.0%）

<インドネシア>

新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動制限の影響を受けたが、3月から実施された自動車奢侈税の減免措置もあり前年同期比+73.6%。

<タイ>

新型コロナウイルスの影響により、前年比、前々年比ともに減少。

<フィリピン>

新型コロナウイルスの影響は前年より軽微であり、前年比では増加したものの、前々年比では減少。

<ミャンマー>

2月以降、政治経済情勢の悪化により、前年同期比で▲59.7%。

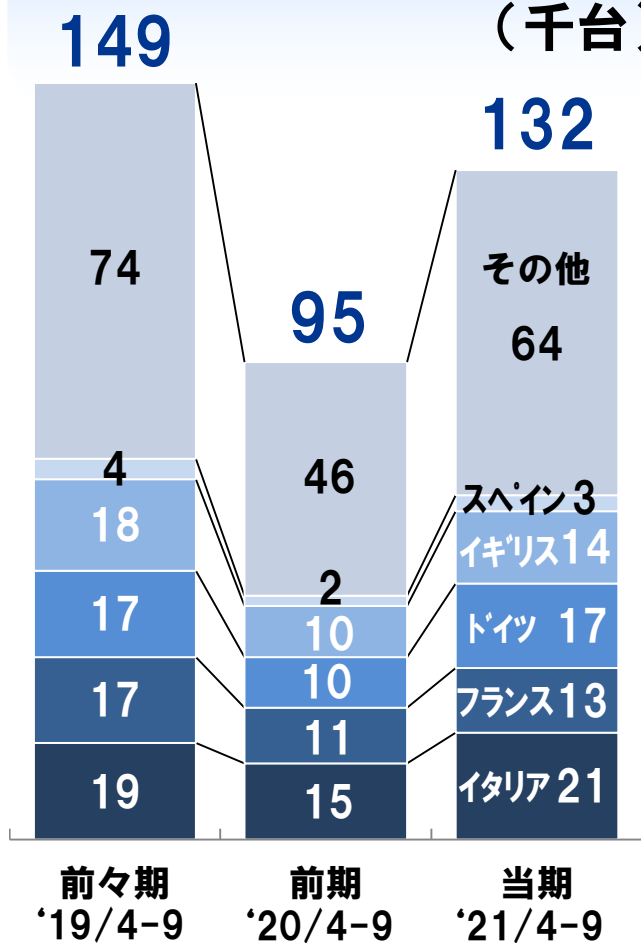


※ アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム、マレーシア6ヶ国合計

《第2四半期比較》

+37千台（+39%）

（千台）



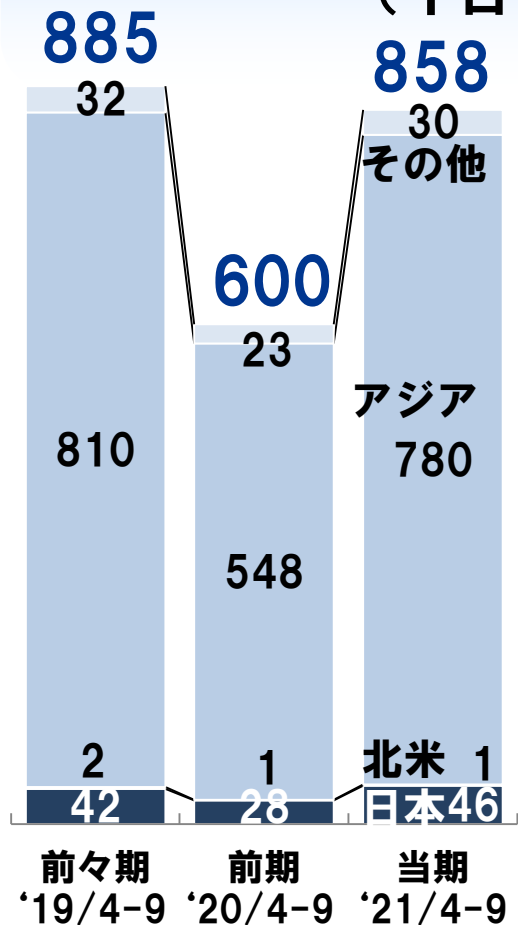
●当期の欧州販売

- ・前年は多くの国で大規模なロックダウンを実施していたが、当期はワクチン接種が進み販売店も通常稼働し、当期販売は132千台、前年同期比+38.8%。
- ・前々年同期比では、半導体を含む部品供給不足による日本やハンガリーでの生産減少の影響により、▲11.6%。



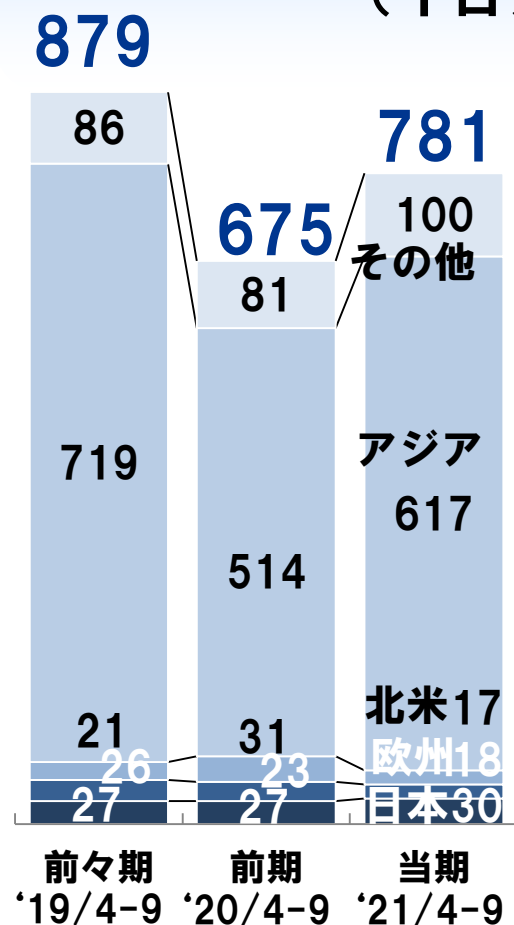
《生産実績》

+258千台 (+43%)
(千台)



《販売実績》

+106千台 (+16%)
(千台)



●当期の世界販売

世界販売	781千台	(前年同期比 + 15.6%)
アジア	617千台	(// + 20.1%)
日本	30千台	(// + 11.7%)
欧州	18千台	(// ▲ 24.1%)
北米	17千台	(// ▲ 45.9%)
その他	100千台	(// + 23.3%)
(アジアの内訳)		
中国	223千台	(// + 12.9%)
インド	258千台	(// + 36.4%)
フィリピン	72千台	(// + 27.8%)
ベトナム	8千台	(// ▲ 19.0%)
その他	56千台	(// ▲ 8.3%)

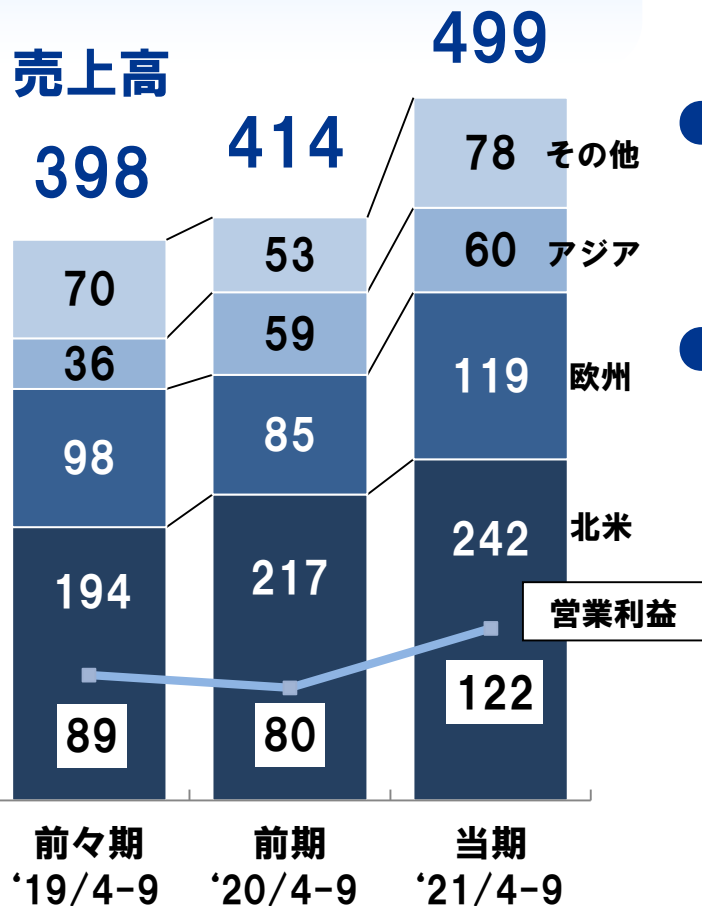
●新型大型二輪車「GSX-S1000GT」を発売

- ・電子制御システムS.I.R.S.（スズキ・インテリジェント・ライド・システム）を新たに搭載。
- ・2021年10月より世界各国で順次発売。

●二輪事業の構造改革と収益確保

- ・構造改革が進み、4～9月利益率は5.8%に改善。
- ・ハヤブサ、GSX-S1000、GSX-S1000GTと、新型車を集中的に投入。

《第2四半期比較》 (億円)



●当期の事業状況

- ・新型コロナウイルスの影響下、欧米を中心として三密を避けたマリンレジャーを手軽に楽しむボート・船外機需要が高まったことを背景に、売上高は前年同期比+20.4%。
- ・在庫不足やコンテナ不足の制約はあるものの、市場は引き続き好調が続くと見込む。

●新機種発表

- ・新機種DF140BG/115BGを発表、発売
- ・カンヌ国際ボートショーで新型マリン用品を発表



- ・新型電子リモコン（デュアルトップマウント）
- ・新型キーレススタートシステム（縦置型）
- ・スズキ・マルチファンクションゲージ

●SDGsに関する取り組み

-3つのコンセプトの下、“SUZUKI CLEAN OCEAN PROJECT”を世界展開

「世界清掃活動」

- ・2010年より開始し、累計参加者数は9,000名以上

「プラスチック梱包材の削減活動」

- ・2020年10月～現在の累計プラスチック削減重量3,126kg

「海洋マイクロプラスチックの削減活動」

- ・マイクロプラスチック回収装置を開発
- ・2022年2月よりオプション販売を開始、2022年7月より標準装備化を予定



マイクロプラスチック回収装置



	(億円)	当期 ('21/4-'22/3)	前期 ('20/4-'21/3)	増 減		補 足	前回予想比較	
					増減率		前回予想	増減
連結 業績	売上高	32,000	31,782	+218	+0.7%	3期振り増収	34,000	▲2,000
	営業利益 (利益率)	1,700 (5.3%)	1,944 (6.1%)	▲244	▲12.6%	4期連続減益	1,700 (5.0%)	±0
	経常利益 (利益率)	2,200 (6.9%)	2,483 (7.8%)	▲283	▲11.4%	2期振り減益	2,200 (6.5%)	±0
	当期純利益* (利益率)	1,500 (4.7%)	1,464 (4.6%)	+36	+2.4%	2期連続増益	1,500 (4.4%)	±0

- ・売上高 … 半導体を含む部品供給不足を受け前回予想を2,000億円下方修正。
- ・利益見通し … 減産影響を見込むものの、為替円安や原価低減努力等により前回予想を据置き。

世界 販売	四輪車	2,486千台	2,571千台	▲85千台	▲3.3%		2,711千台 ▲225千台
	二輪車	1,633千台	1,535千台	+98千台	+6.4%		1,636千台 ▲3千台
配当	一株当たり 年間配当金	未定	90円	—	—	今後の状況を見極める為、未定	未定

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

<営業利益増減要因>

（億円）	通期予想
売上・構成変化等	+644
為替影響	+330
原価低減	+300
原材料価格変動	▲850
研究開発費の増	▲438
減価償却費の増	▲230
計	▲244

<設備投資・減価償却費・研究開発費>

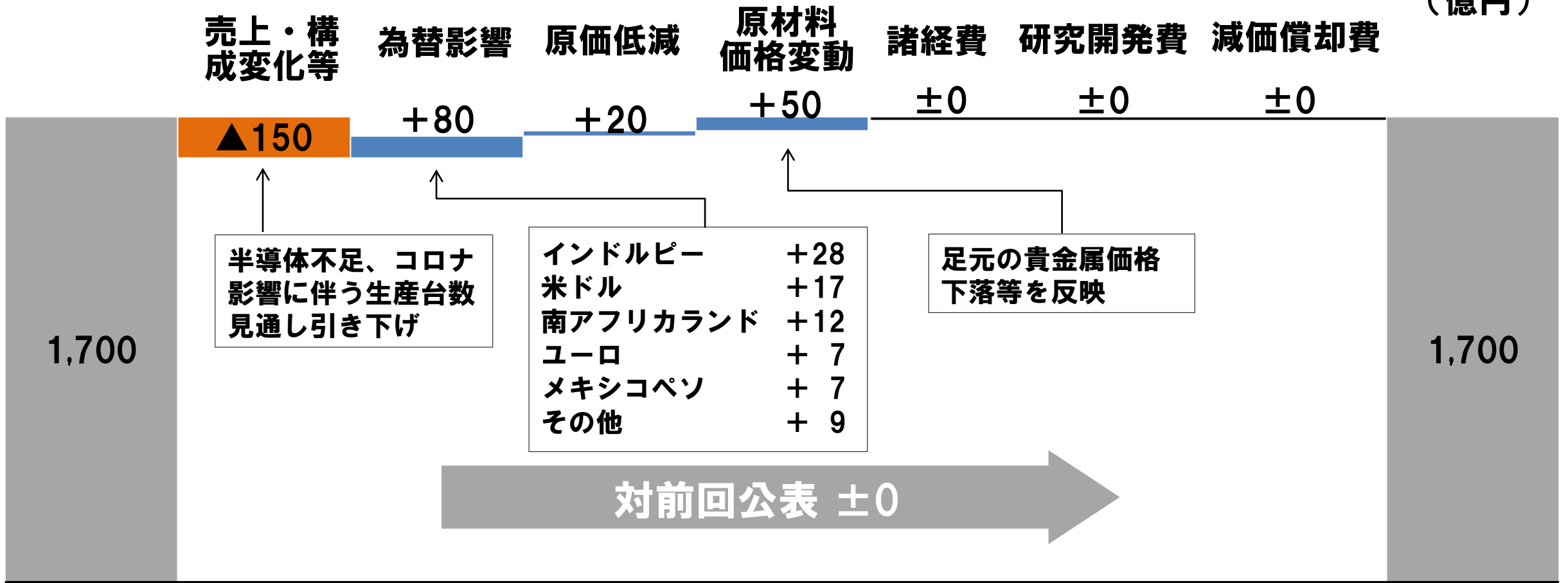
（億円）	通期予想	前期比較	
		前期実績	増減
設備投資	2,300	1,709	+591
減価償却費	1,500	1,365	+135
研究開発費	1,900	1,462	+438

<為替レート>

	通期予想	前期実績	増減	下期予想	営業利益 為替影響 （億円）
ユーロ	130円	124円	+6円	129円	+85
インドルピー	1.49円	1.44円	+0.05円	1.49円	+46
南アフリカランド	7.58円	6.52円	+1.06円	7.50円	+34
メキシコペソ	5.45円	4.93円	+0.52円	5.40円	+31
米ドル	110円	106円	+4円	110円	+31
ポンド	152円	139円	+13円	151円	+28
オーストラリアドル	82円	76円	+6円	81円	+22
ニュージーランドドル	77円	71円	+6円	77円	+10
インドネシアルピア※	0.77円	0.73円	+0.04円	0.77円	+10
パキスタンルピー	0.68円	0.66円	+0.02円	0.66円	+9
その他通貨	-				+24
為替影響額 計					+330

※インドネシアルピアは100ルピア当たりのレート

（億円）



22/3通期予想
8月公表値

22/3通期予想
今回公表値

(千台)	生産台数 ※1					販売台数			
	予想 (22/3期)	前年実績		前回予想 からの増減	期初計画 からの増減	予想 (22/3期)	前年実績		前回予想 からの増減
		(21/3期)	増減				(21/3期)	増減	
<四輪車>									
日本	824	930	▲106	▲19	▲212	537	647	▲110	▲27
欧州	118	110	+8	▲25		234	206	+28	+2
アジア	1,636	1,610	+26	▲255	▲442	1,525	1,560	▲35	▲207
その他	1	1	+0	±0		190	159	+31	+7
合計	2,579	2,651	▲72	▲299	▲654※2	2,486	2,571	▲85	▲225

<二輪車>				
日本	104	67	+37	▲7
欧州	—	—	—	—
北米	3	3	+0	▲1
アジア	1,520	1,371	+149	+2
その他	51	57	▲6	▲3
合計	1,678	1,497	+181	▲9

インド四輪の通期販売見通しは前年比▲6%

50	51	▲1	▲2
31	39	▲8	±0
33	46	▲13	+5
1,336	1,225	+111	▲18
183	174	+9	+12
1,633	1,535	+98	▲3

※1 四輪車生産台数の期初計画は、半導体不足影響、インドコロナ影響等を考慮していない社内計画値

※2 ▲654千台のうち、半導体を含む部品供給不足の影響は国内▲278千台、海外▲363千台、計▲641千台

2022年3月期 第2四半期決算説明会



GSX-S 1000 GT

スズキ株式会社

..... **将来予想に関する注意事項**

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動（主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場）などが含まれます。